



2024-25年度 RI会長
ステファニー A. アーチック



No.3590 4月11日(金)

● 本日の卓話

「和歌山南R.C.様との合同夜間例会」

18:30～

● 次週の卓話

「外部卓話」

和歌山県福祉保健部健康局業務課

指導班 主査 森本 康弘 さん

● 先週の例会記録

- ★ロータリーソング 日も風も星も
 - ★ビジター紹介 なし
 - ★出席報告 (会員数77名、免除会員2名)
本日出席(4/8) 53名 69.74%
 - ★メイキャップ 和アゼリアへ1名、地区へ4名
 - ★S. A. A. 野井和重さん、松井良樹さん、
(ニコニコ箱) 知念章雄さん、中野智一さん
- 本日合計 ￥24,000
今年度累計額 ￥1,793,000
- (財団寄付献金箱) 野井和重さん、松井良樹さん
 - (米山奨学会献金箱) 野井和重さん、松井良樹さん
 - (青少年育成奨励金) 野井和重さん、松井良樹さん



4月は環境月間です

「第10回理事会」開催!

2025年4月1日(火) 18:30～



● 会長あいさつ

会長 野井 和重

【教育】

我が国の「教育」のシステムについて会員の皆様はどのようなお考えをお持ちなのか、またいつかの機会にお伺いしたいと思います。



テレビドラマで「御子(みかみ)先生」というのがありました。私の家にはテレビがありませんので、インターネット経由で全話拝見しましたが、本当に興味のわく、ドキドキするドラマでした。内容は簡単に説明しても10分以上かかりますので割愛し、超簡単に申しますと「おかしく歪んでしまった日本の教育システムを、その根源である文部科学省から改めさせる」というもので、時代を象徴するドラマでありますので、インターネット経由でぜひ見てほしいです。

そこで、お孫さん曾孫さんたちの時代に日本では今以上どこまで学力格差が進んでいるのか、とても気になるところではありませんでしょうか？ 江戸時代には寺子屋というシステムがあり、子供たちはこぞって「字を学びたい!」「もっと知りたい!」「勉強したい!」「寺子屋に行きたい!」と自主性をもったものでありましたが、大東亜戦争以降GHQにより我が国の教育は全て解体され、ロシア共産党の教育者アントン・マカレンコの提唱した「集団教育」という方法を先生たちはみな宝とし、まず教室では「班分け」をされ、事が起これば「班の連帯責任」という集団の教えが軸となり、子供に自ら「考える」ことを放棄させ、学びというものを「聞く」もの「記憶する」ものに変えてしま

いました。御子(みかみ)先生の生徒に投げかける決め台詞は「考えて」でありました。その一言にはとても重みがあり、奥の深い「考える」ドラマでありました。

みなさま和歌山ロータリークラブの未来も、一緒に「考えて」みてください。よろしくお祈りします。

会 長 報 告

【4月は環境月間】

4月は環境月間です。先週末の5日に南ロータリークラブさん主催の「内川の清掃」イベントに参加してきました。当クラブからは18名の参加を頂き、総勢40名弱の皆様で旧大手道を北上し、京橋より市堀川遊歩道におり寄合橋より昌平河岸を左に旧上方通りを南下し、和歌山城ホールまでを語り部さんの話を伺いながら、清掃作業をしてきました。

【青少年育成奨励新規募集】

次年度の青少年育成奨励対象者13名の面接を終了しました。みなさん礼儀正しく素晴らしい学生さんばかりでありました。

幹 事 報 告

- 例会変更のお知らせ (岩出RC、那智勝浦RC)
- 第2660地区IM第1組EXPOフェスタのご案内 (大阪中央RC様より)
- 4/11(金) 18:30より和歌山南RC様との合同例会
- 本日、次年度理事・役員予定者会議開催
- ロータリー会報英語版 (回覧)
- 各テーブルにガバナー月誌配布

委員会報告



雑誌・広報委員会
南 修平 副委員長
ロータリーの友2025
年4月号の主要な記事
のご紹介。



職業奉仕委員会
村田 弘至 委員長
優良事業所見学会のご案内



親睦・ソング委員会
酒徳 俊夫 副委員長
春のBBQ家族会in観潮のご案内



ロータリー財団・国際奉仕委員会
中谷 友紀 委員長
ポリオプラスソサイエティのご案内



環境保全・社会奉仕委員会
林 俊行 委員長
大船渡大規模山林火災被害支援金につ
いて



2024-25年度 青少年育成奨励金
下半期報告(ビデオレター)

担当：青少年育成奨励特別委員会
川端 貞喜 委員長



よね だ つばさ
米田 翼 さん
自治医科大学1年 学業



うえ はら じん ぺい
上原 慎平 さん
明海大学1年 セーリング



誕生日お祝い

卓話

「継続的な成長とメンバ増員を支える
米国での理念と活動」



ラスベガスロータリークラブ
デイビット・ユーゼ さん
Mr. David M. Uze

Is It Fun?
楽しいアクティビティが
メンバを引きつける

- エキサイティングな雰囲気がメンバを引きつける
 - ソーシャルイベントや競技会
 - ポジティブな雰囲気を育む
 - 皆が楽しめる参加型
 - 永続的なつながりを築く
- 家族のような環境を作る
- インクルージョンの推進
 - 協力的なコミュニティ
- ビジネスコラボレーション
自身のクラブメンバーと、他クラブメンバーと。
- ビジネスを通じてロータリーを強化
- ビジネスの協力はクラブ及び地域の関係を強化します
 - より強い絆が奉仕プロジェクトへの参加を促します
 - ビジネスを通じて信頼を築き、より深い個人的なつながりを育みます
 - 信頼は長期的な関係を確立します
- コラボレーション ロータリーと会員の利益
- ネットワークの拡大
 - スキル開発
 - コミュニティ/エンゲージメント
- エンゲージメント活動
- ソーシャルイベント
 - 奉仕プロジェクト
 - トレーニングワークショップ
- 最後に
- 成長のためのステップ
- メンバーシップを拡大するために、エンゲージメント、楽しさ、インクルージョンを重視します。
 - 定期的なソーシャルイベントを開催し、個々の存在感を認知し、家族のような雰囲気作りをします。
 - 仲間のクラブメンバーとのビジネス協力(および紹介)に重点を置きます。
 - クラブ全体の成長と成功のために、他のメンバの成功をサポートします。

“We the OGT !” This is One Great Team



(左から) ご紹介者 檜畑直尚バストガバナー、
卓話ゲスト デイビット・ユーゼさん、野井会長